NO.1 嬉野市議会議員 増田 朝子 開催月日 8 月2日(木)~3日(金) 開催時間 |8月2日(木)(13:15~14:45) 滋賀県大津市唐崎2丁月13番1号 開催場所 主催者 全国市町村国際文化研究所 研修会等の名称 | 平成30年度第2回市町村議会議員特別セミナー 講師等の氏名等 清家 篤氏(慶応義塾学事顧問・慶応義塾大学客員教授) 「豊かな長寿社会を将来世代に」 I 世界に類をみない高齢化 ①高齢化の水準、速度、奥行き ②高齢化は成功の証 ③高齢化を喜べるようにする Ⅱ 支える力を強化する ① 労働力人口の中期見直し ② 鍵を握る高齢者と女性の労働力率 Ⅲ 就労を促進するための制度改革 ① 公的年金制度の改革 ②税制の改革 ③雇用制度の改革 Ⅳ 社会保障給付の急増 ①2025年問題 ②高齢者中心の給付から全世帯型の給付へ Ⅴ 医療介護の提供体制の重点化・効率化 内容•結果等 ① 地域包括ケアの実現 ②2040年問題に備える VI 社会的合意形成の必要 ②将来世代のために ③奴雁と公智の視点で(福澤諭吉)) 【感想】 今回の演題が「豊かな長寿社会を将来世代に」であったが、社会保障給付費(年金給付・医療 給付・介護給付)が急増している中、2025年問題もあり、その長寿社会を支える力を強化するにも、鍵を 握る高齢者と女性の労働力が必要であり、就労を促進するための制度の改革が不可欠となってくる。問 題が大きく、解決が困難だが、最後に福澤諭吉の言葉である、「奴雁」(他の全ての雁が、餌を食べよう と、夢中になって下を向いている中、一羽の雁だけ上空に目を凝らし、敵が襲ってこないかどうかを見張 っている。一人だけ別の視点で物事を見ること)「公智」(一方に片よらない、物事の本質をはっきりと認 識した正しい知識)を引用された。講義の内容としては、社会保障の問題が大きく、これといった解決策 は感じられなかったが、福澤諭吉の言葉は議員としての姿勢として参考にしたいと思った。 支 費 の 内 容 払 先 金額 旅費規程に基づき算出された旅費 29,450 上記活動に要し 研修費・食費・活動費 6.650 た経費 振込手数料 540 36,640

	NO.2	嬉野市議会議員	増田 朝子
開催月日	8月2日(木)~3日(金)		
開催時間	8月2日(木)(13:15~14:45)		
開催場所	滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号		
主催者	全国市町村国際文化研究所		
研修会等の名称	平成30年度第2回市町村議会議員特別セミナー		
講師等の氏名等	池田 憲治氏(全国市町村国際文化研究所学長(前総務省地域力創造審議官)		
内容·結果等	「地方行政を取り巻く状況と地域づくり」について 1 これから直面する人口減少と高齢化 (2050年までに、現在、人が居住している地域の2割が無居住化) 2 自治体戦略2040構想研究会(分野別の課題) ①子育で・教育 ②医療・介護 ③インフラ・公共交通 ④空間管理・防災 ⑤労働力 ⑥産業・テクノロジー 3 まち・ひと・しごと創生基本方針2018 (主なポイント)・・・①ライフステージに応じた地方創生の充実・強化 ②わくわく地方生活実現政策パッケージの策定・実行 ③人生100年時代の視点に立った地方創生 ④平成32年ど以降の次期5カ年の総合戦略に向けて 地方創生 ⑥・3本の矢・・・①情報支援の矢 ②人材支援の矢 ③財政支援の矢 4 地方財政の現状と施策・・・一般財源の総額について2018年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に水準を確保する。 5 最近の地域づくりの施策・・・①地方への移住・定住 ②地域おこし協力隊等 ③「関係人口」の創出等 ④シェアリングエコノミー ⑤地域に暮らし続ける ⑥ 過疎対策 【感想】予定では「無縁社会・老人漂流社会~取材現場より」NHK名古屋放送局報道部チーフプロデューサー板垣淑子氏の講義だったが、変更になった。今回の講義の中で一番受講したかった講師ではあったが、当研修所に就任されたばかりの前総務省地域力創造審議官の池田氏の講義も資料をたくさん準備していただき、まさに地方行政の状況、課題が明確に把握でき、そして地域や地域の人々と多様にかかわる「関係人口」の創出が将来的な地域づくりの担い手になるなど参考になった。		
上記活動に要し た経費	経 費 の 内 容 旅費規程に基づき算出された旅費 研修費・食費・活動費 振込手数料	支 払 先	金額 NO.1に同じ

NO.3 嬉野市議会議員 増田 朝子 開催月日 8月2日(木)~3日(金) 開催時間 |8月3日(木)(9:00~10:30) 滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号 開催場所 主催者 全国市町村国際文化研究所 研修会等の名称 | 平成30年度第2回市町村議会議員特別セミナー 講師等の氏名等|山田 啓二氏(京都産業大学)法学部教授・学長補佐(前京都府知事)) 「変化する地方行政と議員の役割」 今時代は大きく変わっている(①少子高齢化の現実化 ②女性人口の本格的な減少 ③孤立化 ④ソーシャル・キャピタル(社会・地域における人々の信頼関係や結びつきを表す概念)の 低下=活力の低下・安全の低下 「均質性」「個より組織」「横並び意識」⇒「多様性」の時代に新しい「共生」をつくり上げる時代へ ⇒「シェアリング」「コラボレーション」 新しい公共への道(・従来の枠組みを超えて ・官民の境を超えて) 新しい共生社会への対応を妨げるものは①全国一律基準の壁 ②比弾力的な運用 ③時代に対応した変化 ④都市機能の偏在があげられる 多様性を認め、共有し、共生する ⇒ 多様な文化を尊重する 内容·結果等 福祉における共生…①京都版CCRC 高齢者共生型まちづくり ②京都認知症綜合センタ—(仮称) ③京のノウフク 産業における共生…①「京都ち一びす」でまちづくり ②シェアリング事業 地域における共生…①半公半×新たな働き方 ②地域の多様なニーズに応える 【感想】 4期16年間、前京都府知事を務められた山田啓二氏の講義は、元気で軽快な話し方で内容も わかり易く、とても興味深く受講できた。今時代の大きな変化、地方行政はこの変化を意識できるのか、 その変化を自らの市町村においてどう消化するか、国の方向を観るのではなく、国にどうサポートさせる のかと言われた。人口減少は回復不可能な段階まで進もうとしている状態の中で、ソーシャル・キャピタ ルが低下している。そのソーシャル・キャピタルの多様性を認め、共有し、共生していくことが必要となる。 京都府の取り組みも紹介してもらい、参考になった。最後に、地方議会議員は、多様性を代表し、それ をコーディネーターすべきとの言葉に以前他の講師からのことばでもあり、再度心に響いた。 支 先 金額 の 内 払 旅費規程に基づき算出された旅費 NO.1に同じ 上記活動に要し た経費 研修費・食費・活動費 振込手数料

嬉野市議会議員 増田 朝子 NO.4 開催月日 8月2日(木)~3日(金) 開催時間 8月3日(木)(10:50~12:20) 滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号 開催場所 主催者 全国市町村国際文化研究所 研修会等の名称 | 平成30年度第2回市町村議会議員特別セミナー |永瀬||充氏(パラアイスホッケー銀メダリスト:バンクーバーパラリンピック)(一般社団法人日本パ 講師等の氏名等 ラリンビアンズ協会理事、北海道新聞パラスポーツアドバイザー) 内容·結果等 「インクルーシブ社会に向けて」について 講師紹介・・・1976年生まれ。北海道旭川市出身。高校1年生の時に神経の難病により歩行困 難となる。1995年(19歳)、入院中にパラアイスホッケーを知り、退院後に始める。1998年長野 パラリンピックにゴールキーパーとして出場。2000年世界選手権世界オールスターメンバー(ベ スト6)に選出される。同年、カナダに留学して地元チームでホッケ―をしながら大学で障害者 支援について学ぶ。2002年ソルトレイクシティ、2006年トリノパラリンピックに出場。2010年バン クーバーパラリンピックピックで銀メダルを獲得。2015年引退。その後、10年以上、障害者相談 支援センターで働き、2017年より北海道新聞パラスポーツアドバイザーとして取材活動や講演 活動を行っている。障害があってもなくても一緒にスポーツを楽しめる地域づくりのため奮闘中。 パラリンピックの大事な考え方(1)失われたものを数えない、残されたものを最大限にいかせ! ②私はできる ③多様性と共生社会 インクルーシブ…十人と色の社会、社会にも多種 多様な人がいる 社会の「障害者像」は「車いすのため」のバリアフリーであり、初めから社会にいるずべての人 の為にバリアフリー(ハード)よりアクセシジリティー(ソフト) (例)①車いすみこし 企業+環境協会 ②車いすで観光・雪と氷 ③UDレシピ(レンジ) 車いす紅蓮隊(ぐれんたい)…楽しみたい、誰にもやさしいマチにしたい」 それぞれの立場でできることをやっていく 行政+民間+住民 ⇒ 思いはひとつ 【感想】 神経の難病で歩行困難になられたことを、淡々と話されていたが、その病気を自分の 中で受け入れ、パラリンピックの選手に選出されたことは、永瀬氏の強い精神力を感じた。また 、銀メダルを会場の皆さんに回していただき、私も初めてメダルに触れ、感動しました。障害が あってもなくても一緒にスポーツを楽しめる地域づくりのために地元でもインクルーシブ社会を めざされている様子を紹介された。嬉野市においてもバリアフリーツアーセンターがあるので、 多くの市民を巻き込んでのセンターを中心としたインクルーシブ社会をを目ざしたいと思います。 経 費 0 内 容 支 払 先 金額 |旅費規程に基づき算出された旅費 NO.1に同じ 上記活動に要し た経費 研修費・食費・活動費 振込手数料